

2023年度

# エコアクション21環境経営レポート

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



**トヨタカローラ名古屋株式会社**

2024年 9月 4日 発行

うれしいこと 全力で。

あなたの街のカローラ名古屋



COROLLA



# ごあいさつ

## 自他共に認める良い会社へ

### Good Harmony

～人と人、人とクルマのグッドハーモニーを奏でる～

トヨタカローラ名古屋は、働く仲間と一丸となって、お客様や地域社会との調和を大切に  
する、愛知県において唯一無二のモビリティライフ創造カンパニーであり続けます。人は、  
一人よりも二人、二人よりも三人と、より多くの人たちが協力し合うことでより大きな力を  
発揮します。私たちは、社員ひとり一人の得意分野や個性を活かしながら、仲間を認め  
合い、支え合い、高め合うことにより、お互いを尊敬しあえるワンチームをつくり、「成長の  
輪」を広げていきます。

モビリティビジネスにおいては、常にお客様視点を持ち合わせた、温かみのある、より良き  
アイデアに満ちたサービスを提供することはもちろん、トヨタカローラ名古屋のお店と多くの  
方々、地域社会が繋がらあう“共存共栄”の精神で「幸せの循環」を創り出します。

トヨタカローラ名古屋株式会社  
代表取締役社長

後藤善和





# もくじ

ごあいさつ	1
もくじ	2
会社概要	3
店舗一覧	4
環境経営方針	5
環境推進体制	6
役割と責任および権限	7
環境経営計画	8
環境経営目標と実績	10
トヨタカローラ名古屋の取組み	12
環境法規等要求事項と遵守状況	16
環境経営者による評価と見直し	19
第3期中期計画	20
次年度のとりくみ	21





# 会社概要

- \* 会社名 トヨタカローラ名古屋株式会社
- \* 本社 愛知県名古屋市中区松原一丁目6番2号
- \* 代表者 代表取締役社長 後藤善和
- \* 設立 1961年6月6日
- \* 売上高 670億1千万円（2024年3月期実績）
- \* 従業員数 1029名（2024年3月末現在）
- \* 取引会社 トヨタ自動車株式会社 他
- \* URL <http://www.c-nagoya.co.jp/>
- \* 店舗、事業所 愛知県内に計42拠点（中古車、レクサス、VW含む）
- \* 対象範囲 全組織・全活動
- \* 環境管理責任者 黒沢毅一郎（管理本部長）
- \* 担当者連絡先 EA21事務局 安藤隆美 TEL:052-331-7174 Eメール:takami\_ando@c-nagoya.co.jp
- \* 事業内容 取扱いトヨタ車・レクサス車の新車販売及び整備  
フォルクスワーゲン車の新車販売及び整備  
中古車・CPO（認定中古車）・DWA（認定中古車）販売及び整備  
損害保険・火災保険・生命保険の代理店業務  
JAF、TS3カード、KDDI代理店業務等  
その他上記に付帯する一切の業務。
- \* 主な出来事 1961年 パブリカ名古屋株式会社 創業  
1965年 後藤本社株式会社設立（現：Gホールディングス株式会社）  
1967年 カローラ販売開始  
1969年 トヨタカローラ名古屋株式会社に社名変更  
2005年 レクサス販売開始  
2011年 創業50周年達成、「エコアクション21」認証取得  
2015年 新車販売累計 50万台達成  
2019年 トヨタカローラ愛知（株）、ネットヨタ中部（株）がGホールディングスグループ傘下に入る  
2022年 4月ジェームスグリーンロード店を譲受、6月尾張旭井田店オープン  
11月BP・サービスショップ・新車物流5拠点がグループ新会社GHサービスへ移譲  
2023年 4月ジェームス守山吉根店を譲受、9月に248上地店新規オープン





# 店舗一覧

## 名古屋地区 10店舗

西大須店 中村本陣店 みなと店  
 荒畑店 瑞穂山下通店 千種都通店  
 植田一本松店 日進竹の山店 緑徳重店 勝川店

## 尾張地区 6店舗

古城店 豊山店 津島神守店  
 一宮牛野店 江南店 岩倉駅西店

## 知多地区 8店舗

豊明店 東海富木島店 大高店 大府店  
 東浦店 半田乙川店 常滑店 刈谷店

## 三河地区 6店舗

豊田寿店 安城店 岡崎上地店  
 豊橋下地店 豊川店 豊橋飯村店

## 本社

## 中古車

U-Car一宮若竹 尾張旭井田店  
 U-Car刈谷 中古車卸センター  
 U-Car日進竹の山

## LEXUS

レクサス東海

## VOLKSWAGEN

Volkswagen西大須  
 Volkswagen豊明  
 Volkswagen半田

## ジェームス

ジェームスグリーンロード店 ジェームス守山吉根店

次年度より対象店舗へ追加

248上地店





# 環境経営方針

## <基本理念>

トヨタカローラ名古屋は、自動車の販売・サービス等の事業活動を通じて、お客さまが安全・安心にお車をお使いいただき、より豊かで楽しいカーライフ実現のために、優れた商品とサービスの提供に努めると共に、環境保全に努め、地球環境・地域社会の持続可能な発展に貢献する会社を目指します。

## <方 針>

当社が果たすべき役割として、事業活動における環境負荷の低減に努めるとともに、環境対応型自動車の普及など、環境保全に寄与する活動に努めます。

また、地域に根ざした会社を目指し、地域貢献活動・環境保全活動等にも積極的に参画し、社会貢献に努めます。

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目標を定めて従業員全員で継続的な環境改善に取り組めます。
  - ①環境対応型自動車（低燃費車・低公害車等）の普及に努め、地球環境保全の一助となるべく取り組めます。
  - ②事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO<sub>2</sub>排出の削減に努めます。
  - ③事業活動に伴う水資源の使用量の節水に努めます。
  - ④資源を有効に利用するため、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。
  - ⑤自動車の整備等に使用する副資材に含まれている化学物質の適正管理に努めます。
  - ⑥環境配慮物品を優先して調達し、グリーン購入の推進に努めます。
2. 地域とのコミュニケーションを大切にし、地域貢献活動や環境保全活動を通じて、地域の発展に寄与します。
3. 環境に関する法律、条例、協定、および当社が決めた外部からの要求事項を遵守します。

トヨタカローラ名古屋株式会社  
代表取締役社長

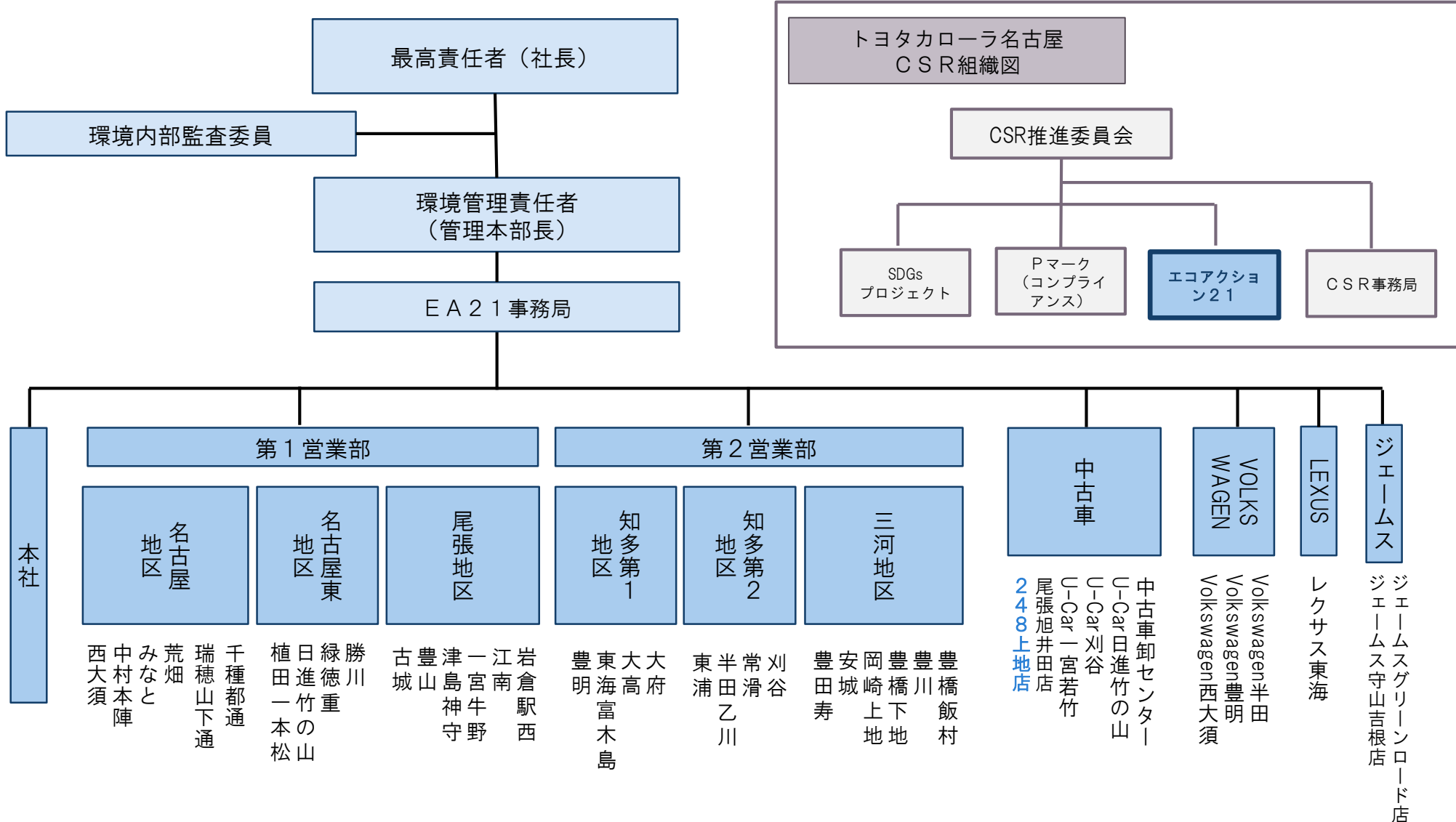
後藤善和

制定 平成23年 2月1日  
改定 平成24年 6月8日





# 環境推進体制



本社の各部長、GLおよび店舗の店長、センター長、GMが各々の環境責任者

※248上地店：次年度より対象へ追加





# 役割と責任および権限

役 割	責任および権限
最高責任者 (社長)	環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境経営システムの実施に必要な人材、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境方針の策定・見直しと全従業員への周知 全体の評価と見直しの実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者 (管理本部長)	環境経営システムの構築、実施・管理 環境活動の取組結果を最高責任者へ報告 環境活動レポートの確認
E A 2 1 事務局	環境責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境活動の実績集計 環境関連の苦情・要望の受付及び対応 環境活動レポートの作成、公開（事務局に備付けと地域事務局への送付）
C S R 推進委員会	E A 2 1 事務局と連携し、環境活動を全社へ展開
C S R 事務局	
環境内部監査委員	最高責任者又は環境管理責任者からの任命による監査担当
環境責任者	自部門における環境活動の責任者 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境推進者	環境責任者の補佐
全社員	環境方針の理解と環境取り組みの重要性への自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加







# 環境経営計画

環境方針	取組項目	取組内容	時期	担当部署
1. 事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO2排出の削減	①電力使用量の削減	スリープモード実施の徹底	通年	EA 2 1 事務局
		電気・空調等のこまめな節約の推奨	通年	EA 2 1 事務局
	②電源周りの見直し	コンセント制御機器導入検討	4～7月	EA 2 1 事務局
2. 廃棄物の削減およびリサイクルの推進	①店舗廃棄物置き場のセルフチェックの実施	各店舗の廃棄物置き場のセルフチェックを実施してもらう	5～9月	EA 2 1 事務局
	②廃棄物回収業者の契約見直し	回収業者許可証の更新確認	2月	EA 2 1 事務局
3. 事業活動に伴う水資源の使用量の節水	①水資源節約の呼びかけ	節水推奨ステッカーの掲示	3月	EA 2 1 事務局
	②門型洗車機の導入	門型洗車機の未設置店舗への導入	通年	総務部
4. 自動車の整備等に使用する副資材に含まれている化学物質の適正管理	①化学物質の使用量の正確な把握と管理	社内監査による管理状況の確認	通年	EA 2 1 事務局
5. 環境対応型自動車（低燃費車・低公害車等）の普及	①エコタイヤの販売促進	年間3回の「タイヤキャンペーン」時に販売促進の実施（副店長会議で説明・促進）	通年	EA 2 1 事務局
6. 事務用品のグリーン購入率の維持	①環境対応商品の優先購入	環境ラベルのある商品購入の推進	通年	EA 2 1 事務局
	②消耗品のグリーン購入率の実態把握	カウネットによる購入比率の集計	3月	EA 2 1 事務局
	③消耗品のグリーン購入率の実態展開	店舗への展開(Sa-portal等)	3月	EA 2 1 事務局





# 環境経営計画

環境方針	取組項目	取組内容	時期	担当部署
7. 前回審査時の審査人指摘事項及び代表者からの指摘事項に対する是正	①なごやSDGsグリーンパートナーズへの参画の検討	SDG s プロジェクトと参画の検討	1月	SDG s EA21事務局
	②店舗環境経営活動計画書における店舗の目標内容の具体化	次年度計画時に具体的事項が入力できるフォーマットを作成する	3月	EA21事務局
	③各種届出・記録の管理	保管方法の見直し	1月	EA21事務局





# 環境経営目標と実績

※ CO2排出係数の変更および店舗数の変更に伴い目標値を修正しています。

2023年度 とりくみ内容	目標	実績	結果	コメント
1. CO <sub>2</sub> 排出量の削減 ※ 【売上高あたりのCO <sub>2</sub> 排出量削減】 【CO <sub>2</sub> 総排出量の削減】	売上高あたり 69.3kg-CO <sub>2</sub> /百万円	53.5kg・CO <sub>2</sub> /百万円		売上高あたりの指数、総排出量ともに目標を達成することができました。今後もカーボンニュートラルを意識しながらCO <sub>2</sub> 排出量削減に努めていきます。
	CO <sub>2</sub> 総排出量 3,774,637Kg-CO <sub>2</sub>	3,586,061Kg-CO <sub>2</sub>		
2 廃棄物の削減 【廃棄物の再資源化率の維持】 【廃棄物排出量の削減】	リサイクル率 88%	68.4%		今後も廃棄物の分別に取り組み、再資源化可能な廃棄物についてはできる限り再資源化させリサイクルの促進に努めていきます。
	廃棄物排出量 1,258,339Kg	1,484,094Kg		
3. 水資源使用量の削減 【洗車1台当たりの水使用量削減】 【水資源総使用量の削減】	洗車1台あたり 0.0914m <sup>3</sup> /台	0.0846m <sup>3</sup> /台		洗車1台当たりの使用量、総使用量ともに目標値以下に抑える事ができました。引き続き節水を呼びかけ、無駄な水資源の使用削減に努めます。
	総使用量 28,786m <sup>3</sup>	27,710m <sup>3</sup>		
4. 化学物質の適正管理 【年1回保管状況の社内監査実施】	実施	実施		今後も引き続き適正管理に努めます。
5. 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善 【エコタイヤ販売比率の増加】	エコタイヤ販売比率 50.7%	51.8%		お客様との環境コミュニケーションの一環として活用できるよう社員教育を進めていきます。
6. グリーン購入の推進 【グリーン商品の購入率の維持】	35.0%	36.1%		エコ商品を選択しやすい環境づくりを推進していきます。

※ CO<sub>2</sub>排出係数は環境省・経済産業省公表のR4年度電気事業者別排出係数より各拠点の契約会社公表の係数を使用しております。

中部電力ミライズ(株)・・・0.459 中部電力パワーグリッド(株)・・・0.438 エフビットコミュニケーションズ(株)・・・0.450 (kg・CO<sub>2</sub>/kWh)





# 環境経営目標と実績

## ◎CO<sub>2</sub>排出量の内訳

エネルギー	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量	前年度CO <sub>2</sub> 排出量
電力 ※	3,646,603 kWh	1,639,603 Kg-CO <sub>2</sub>	1,574,029 Kg-CO <sub>2</sub>
ガソリン	744,173 L	1,726,480 Kg-CO <sub>2</sub>	1,942,863 Kg-CO <sub>2</sub>
軽油	55,703 L	143,714 Kg-CO <sub>2</sub>	230,100 Kg-CO <sub>2</sub>
灯油	1,631 L	4,061 Kg-CO <sub>2</sub>	8,479 Kg-CO <sub>2</sub>
都市ガス	32,756 m <sup>3</sup>	70,754 Kg-CO <sub>2</sub>	52,946 Kg-CO <sub>2</sub>
液化石油ガス (LPG)	483 Kg	1,449 Kg-CO <sub>2</sub>	4,347 Kg-CO <sub>2</sub>
<b>CO<sub>2</sub> 総排出量</b>		<b>3,586,061 Kg-CO<sub>2</sub></b>	<b>3,812,765Kg-CO<sub>2</sub></b>

(前年度比 5.9%減)

$$\begin{array}{ccc}
 3,586,061 \text{ Kg-CO}_2 & / & 67,018 \text{ 百万円} = 53.5 \text{ kg} \cdot \text{CO}_2 / \text{百万円} \\
 (\text{CO}_2 \text{ 総排出量}) & & (\text{2023年度売上高}) \qquad \qquad (\text{売上高当たりCO}_2 \text{ 排出量})
 \end{array}$$

※ CO<sub>2</sub>排出係数は環境省・経済産業省公表のR4年度電気事業者別排出係数より各拠点の契約会社公表の係数を使用しております。

11 中部電力ミライズ (株) …0.459 中部電力パワーグリッド (株) …0.438 エフビットコミュニケーションズ (株) …0.450 (kg・CO<sub>2</sub>/kWh)





# トヨタカローラ名古屋の取組み

## 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量 削減に向けて

当社では、トヨタの一員としてカーボンニュートラルの実現に向けBEVやPHEV、HEVといった幅広い車種を取り扱っております。

また、車のメンテナンスの面でもタイヤやエンジンオイルをはじめとした、低燃費な商品も取り扱っており、カーライフを通じ地域のお客様とともに、環境負荷低減に向けこれからも取り組んでまいります。



トヨタカローラ名古屋  
オリジナルキャラクター  
カロニヤ〜ゴ

自動車販売会社として、  
地域社会の一員として、  
トヨタカローラ名古屋が取り組  
んでいる事を紹介するにゃ!

## 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量 削減に向けて

各拠点にて、空調や照明等、快適な環境づくりに電力の使用は欠かせません。  
当社では、必要などころに効率よく電力を使用する事で、不要な二酸化炭素排出量の削減に向け取り組んでいます。  
不要な場所の消灯やサーキュレーターや温度計の活用等効率化に向け取り組んでいます。

温度計を活用している様子



サーキュレーターを  
活用している様子





# トヨタカローラ名古屋の取組み

## 廃棄物の削減に向けた取組み



廃棄物を排出する上で、  
きちんと分別を行うことで資源化  
にもつながるにゃ!

### ～ 廃棄物削減に向けた取組み ～

一般廃棄物、産業廃棄物の廃棄物削減に向けた取組みにおいて、当社では日頃から分別を適切に行うよう心がけ、再資源化に向けた取組みを推奨しています。

同時に、『その他の取組み』へ記載しておりますスマートカタログの導入のように、廃棄物の削減への取組みにも併せて取り組んでいます。

限りある資源を未来に残していく為にも、引き続き取り組んでいきます。



### ～ 産業廃棄物処理業者への視察 ～

産業廃棄物を排出する事業者として、廃棄物の運搬・処理を行う業者が適切な業務が行われているのか、確認・視察を行っています。

産廃業者へ視察した際の様子





# トヨタカローラ名古屋の取組み



水資源の有効利用の為に

## ～ 日頃の取組み ～ 事務所、工場のできる事

日頃から取り組むことのできる活動として  
事務所やショールーム等の水回りに  
節水への協力をお願いするステッカーを  
掲出し、取組みに繋げています。  
環境活動を特別なものとして捉えるのではなく  
身近な活動、すぐに取り組むことのできる活動として  
捉え、今後も取り組んでまいります。

節水に  
ご協力下さい

節水に  
ご協力下さい



トヨタカローラ名古屋  
オリジナルキャラクター  
ワルニャ〜ゴ

環境活動は日頃からの  
取組みの積み重ねが大切!

## 洗車機の導入による効率化

当社は、自動車を取り扱う会社として、お客様から  
お預かりした車やお客様へ販売した車等の洗車の為  
水資源を多く利用します。  
こうした状況の中、適切な水資源の利用と業務の効率  
化を図る為、順次洗車機の導入を進めています。  
2023年度は古城店、千種都通店の2拠点で洗車機を  
導入しました。



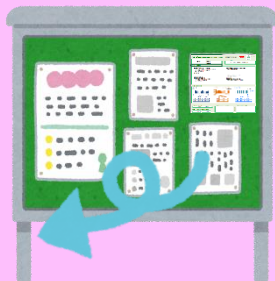
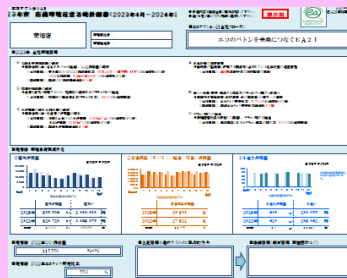


# トヨタカローラ名古屋の取組み

## その他の取り組みについて

### 環境活動への全員参加に向けて

環境活動へ全員が参加する為に、毎年各拠点ごとに「店舗環境活動計画書」を作成しています。各拠点にて環境負荷実績を把握し、どのように環境活動に取り組んで行くか目標を建てています。そして、計画書を事務所内に掲出することで、社員一人一人が意識できるようにしています。



その他にも、トヨタカローラ名古屋のオリジナルグッズとして、環境に配慮したバンブーファイバーを取り入れる等地域の皆様とどのような環境活動に取り組むことができるのか、これからも検討してまいります。



スマートカタログを導入しました

スマカタを導入した店舗の様子



### 紙資源の利用を減らす為に

当社では、紙カタログの削減により環境への負荷を低減する為に、2023年11月より千種都通店にてスマートカタログを導入しました。また、12月には豊田寿店も導入しており、今後順次「スマカタ」の導入を目指しております。

トヨタカローラ名古屋 千種都通店にて

紙カタログレス活動ははじめました

紙カタログを削減することで、環境負荷の低減に貢献します

紙	木材	CO <sub>2</sub>
削減	削減	削減

- 1 動画でより分かりやすく
- 2 比較もカンタン
- 3 いろいろな機能がすぐ使える

**スマカタ**とは？  
今までの紙カタログでお伝えしていたクルマの情報を、デジタルの良さを活かしたコンテンツをタブレットに接続。お客様により分かりやすくおクルマのご説明をするツールとして誕生したのがスマートカタログです。







# トヨタカローラ名古屋の取組み



トヨタカローラ名古屋は地域の  
一員として、様々な活動を行  
っているにゃ!

## その他の取組みについて

### クールビズの実施

地球温暖化防止および省エネルギー  
対策の一環として、当社は継続して  
取り組んでいます。

本年度は、2023年5月1日～  
2023年10月31日の期間で  
クールビズを実施いたしました。



## トヨタカローラ名古屋の社会貢献活動について

トヨタカローラ名古屋を含むGHグループでは、  
愛知県の女子サッカー選手たちを応援しています。

その一環として、2023年も、スポーツ振興の為に  
グラウンド整備事業への寄付をおこないました。



また、その他の社会貢献活動  
として店舗での地域の地元中  
学校の職場体験受け入れや  
チャリティマラソンへの寄付、  
献血活動の取組みを実施  
いたしました。



GHグループの社会貢献活動について: <https://g-holdings.org/>





# 環境法規等要求事項と遵守状況

区分	法律・政令・省令・条例等の名称	主要要求事項・内容	該当の有無
環境基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本全般</li> <li>・循環型社会形成推進基本法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 公害防止、廃棄物への対応、リサイクル、行政への協力</li> <li><input type="checkbox"/> 循環型社会形成への廃棄物抑制、再使用、リサイクル、適正処理と行政への協力</li> </ul>	該当あり
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> <li>【愛知県】</li> <li>・廃棄物の適正な処理の促進に関する条例</li> <li>・県民の生活環境の保全等に関する条例</li> <li>・各市町村条例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 産業廃棄物収集運搬、処分業者との委託契約、処理状況の確認</li> <li><input type="checkbox"/> マニフェスト発行・管理・返送遅延時の届出</li> <li><input type="checkbox"/> マニフェスト交付状況の報告</li> <li><input type="checkbox"/> 掲示板による必要事項の表示 表示：60cm角以上、種類、氏名・連絡先</li> <li><input type="checkbox"/> 処理委託業者の能力等の確認、適正処理の定期的な確認、不正処理確認時の届出</li> <li><input type="checkbox"/> 応急処置と事故時の報告</li> <li><input type="checkbox"/> 廃棄物の発生抑制、適正処理、循環資源として再生品の使用、施策の協力</li> <li><input type="checkbox"/> 事業系一般廃棄物の許可業者に委託（許可証の確認）</li> </ul>	該当あり
水質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質汚濁防止法</li> <li>【愛知県】</li> <li>・県民の生活環境の保全等に関する条例</li> <li>・下水道法</li> <li>・浄化槽法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設（地下浸透）の届出（公共用水域に排水する特定施設と、下水道に排水する特定施設も含む）</li> <li><input type="checkbox"/> 排出基準に適合しない排水を排出してはならない</li> <li><input type="checkbox"/> 排水水または特定地下浸透水の汚染状態を定期測定し記録を保管（3年間保管）</li> <li><input type="checkbox"/> 事故時の浸透防止応急措置、事故時の届出</li> <li><input type="checkbox"/> 下水道へ基準に適合しない水質を排出してはならない</li> <li><input type="checkbox"/> 除害施設の設置</li> <li><input type="checkbox"/> 水質測定義務</li> <li><input type="checkbox"/> 設置または変更時の届出</li> </ul>	該当あり
大気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車No x・PM法）</li> <li>【愛知県】</li> <li>・貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事業者の責務（自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める）</li> <li><input type="checkbox"/> 対策域内での使用及び所有の不可</li> <li><input type="checkbox"/> 削減計画（対象自動車保有数30台以上）</li> <li><input type="checkbox"/> 荷主等による車種規制非適合車の不使用のための措置等</li> </ul>	該当あり





# 環境法規等要求事項と遵守状況

区分	法律・政令・省令・条例等の名称	主な要求事項・内容	該当の有無
騒音	・騒音規制法 【名古屋市】 ・市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例 【愛知県】 ・県民の生活環境保全等に関する条例	<input type="checkbox"/> 規制基準の遵守 <input type="checkbox"/> 騒音発生施設の設置の届出	該当あり
振動	・振動規制法 【名古屋市】 ・市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例 【愛知県】 ・県民の生活環境保全等に関する条例	<input type="checkbox"/> 規制基準の遵守 <input type="checkbox"/> 振動発生施設の設置の届出	該当あり
危険物	・消防法 【名古屋市 豊田市 他】 ・火災予防条例	<input type="checkbox"/> 防火管理者の選任・届出と、消防計画作成 <input type="checkbox"/> 危険物等の貯蔵等の基準 <input type="checkbox"/> 消防訓練の届出 <input type="checkbox"/> 少量危険物等の届出	該当あり
エネルギー	・エネルギーの使用の合理化に関する法律 ・地球温暖化対策の推進に関する法律 【愛知県】 ・県民の生活環境保全等に関する条例 【名古屋市】 ・市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	<input type="checkbox"/> エネルギー使用者の努力 <input type="checkbox"/> 特定事業者の指定 <input type="checkbox"/> 特定事業者 各届出書の提出、報告 <input type="checkbox"/> 第2種エネルギー管理指定工場の指定 <input type="checkbox"/> 建築物の建築をしようとするもの等の努力 <input type="checkbox"/> 第1種特定建築物の届出 <input type="checkbox"/> 第2種特定建築物の届出 <input type="checkbox"/> 特定排出者または特定事業所排出者の指定 <input type="checkbox"/> 温室効果ガス算定排出量の報告 <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策計画書及び実施状況書の作成と提出 <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策計画書の作成と届出及び公表	該当なし (努力義務あり)





# 環境法規等要求事項と遵守状況

区分	法律・政令・省令・条例等の名称	主な要求事項・内容	該当の有無
化学物質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生法</li> <li>・有機溶剤中毒予防規則</li> <li>・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律</li> </ul> <p>【愛知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の生活環境保全等に関する条例</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 化学物質の掲示・備付け及び周知 <input type="checkbox"/> 化学物質のリスクアセスメントの実施 <input type="checkbox"/> 化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置 SDS (Safety Data Sheet) の入手 <input type="checkbox"/> 有機溶剤作業主任者の選任 <input type="checkbox"/> 取扱いの掲示及び有機溶剤区分表示 <input type="checkbox"/> 排出量の把握 <input type="checkbox"/> 第1種指定化学物質の移動量、排出量把握・届出 <input type="checkbox"/> 第1種指定化学物質の取扱量把握・届出 <input type="checkbox"/> 特定化学物質管理書の作成による適正管理と管理書の届出 <input type="checkbox"/> 有害物ばく露作業報告	該当あり
再資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済自動車の再資源化等に関する法律</li> <li>・資源の有効な利用の促進に関する法律</li> <li>・特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）</li> <li>・使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律</li> <li>・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 自動車の所有者の責務 <input type="checkbox"/> 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務 <input type="checkbox"/> 引取業者の引取義務 <input type="checkbox"/> 長期使用と再生資源利用促進への協力 <input type="checkbox"/> 長期間使用による排出抑制、適切な引渡しと処理料金の支払い <input type="checkbox"/> 再資源化を適正に実施し得る者に引き渡す <input type="checkbox"/> できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする	該当あり
オゾン層 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律</li> <li>・工業用水法</li> </ul> <p>【愛知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の生活環境の保全等に関する条例</li> </ul> <p>【名古屋市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 第1種特定製品（業務用エアコン、冷蔵庫等）の機器の設置・点検及び廃棄時等のフロン類の回収 <input type="checkbox"/> 引取証明書による回収・破壊の工程の確認 <input type="checkbox"/> 自動車の駐車時、構成員・準構成員へ原動機を停止するよう指導 <input type="checkbox"/> 駐車場設置者の周知義務 <input type="checkbox"/> 指定地域での井戸設置の届出と許可	該当あり
その他要求事項	<p>【業界・取引先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ自動車販売店協会</li> <li>・トヨタ販売店環境ガイドライン</li> <li>・第5次トヨタ環境取り組みプラン</li> </ul>	<input type="checkbox"/> トヨタ販売店CSR(環境)ガイドラインの徹底等による環境取組みの推進と強化 <input type="checkbox"/> 第三者認証の環境マネジメントシステムの取得	該当あり





## 環境法規等要求事項と遵守状況

### <環境関連法規への違反、訴訟等の有無>

当社は、自社の遵守状況評価で問題が無いことを確認しました。  
なお、環境関連法規への違反はありませんでした。  
関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。



## 環境経営者による評価と見直し

今年度も計画通り進んでいるのを確認した。  
来年度に向けては、SDGsプロジェクトの活動と相乗効果を狙い、全社一体となって取り組んでもらいたい。  
また、トヨタ自動車の中期方針に従い、地域・お客様から求められるモビリティ・エネルギー・コミュニティ拠点としての店舗づくりを進めていく予定である。その中で太陽光パネルの設置や急速充電設備の設置によるEV普及の促進など、CO2削減につながる施策もあるのでこれらをきっかけとして全社での環境活動を加速させてもらいたい。





# 第3期中期計画（2021年度～2025年度）

2021年度からの5年間を「第3期」として活動しています。

第1期：2010年度～2015年度  
第2期：2016年度～2020年度  
第3期：2021年度～2025年度

EA21ガイドライン 要求事項	E A 2 1 活動指針	取組項目	中期の環境目標（2025年度まで）
二酸化炭素排出量の削減	事業活動に伴う省エネルギーを推進し、CO <sub>2</sub> 排出の削減に努めます。	・売上高当たりの二酸化炭素排出量の削減（電気、ガソリン、軽油、灯油、ガス使用量の削減）	【全社】 売上高あたりのCO <sub>2</sub> 排出量比率 ※ 基準年から5%削減（年1%毎の削減） ※売上高は2019年度が維持されると想定 CO <sub>2</sub> 総排出量 基準年から5%削減 【店舗】 売上高あたり電気・ガソリン・軽油・ 灯油・ガスの使用量 基準年から5%削減（年1%毎の削減）
廃棄物排出量の削減	資源を有効に利用するため、廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。	・廃棄物の再資源化率（リサイクル率）の維持 ・廃棄物排出量の削減	【全社、店舗別】 廃棄物の再資源化率（リサイクル率） 基準年の再資源化率の維持 廃棄物排出量、基準年から5%削減 （年1%毎の削減）
水使用量の削減	事業活動に伴う水資源の使用量の節水に努めます。	・生活水使用量の削減 ・洗車1台当たりの水使用量の削減	【全社】 洗車（新車販売、U-Car在庫・販売、 サービス入庫（含むBC）、物流配送台数） 1台当たりの水使用量 基準年から5%削減（年1%毎の削減） ※入庫台数は2019年度実績が維持されると想定
化学物質の使用量の削減	自動車の整備等に使用する副資材に含まれている化学物質の適正管理に努めます。	・化学物質の取扱い把握と適正量の保管	【店舗別】 年1回保管状況の社内監査
自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境対応型自動車（低燃費車・低公害車等）の普及に努め、地球環境保全の一助となるべく取組みます。	・エコタイヤ販売比率の増加	【全社】 タイヤ総販売本数に対するエコタイヤの 販売比率、基準年から5%増 ※総販売本数は2019年度実績が維持されると想定
グリーン購入の推進	環境配慮物品を優先して調達し、グリーン購入の推進に努めます。	・事務用品のグリーン購入率の維持	【全社】 事務用品におけるグリーン商品の購入率 基準年の購入率の維持（2023年度より見直し）





# 次年度のとりくみ

## <2024年度 環境目標>

2025年度までの取り組み項目	基準年度 (2019) 実績	2024年度 目標
・売上高当たりの二酸化炭素排出量の削減 (電気、ガソリン、軽油、灯油、ガス使用量の削減) ※	【全社】売上高あたり 92.1kg-CO <sub>2</sub> /百万円 (CO <sub>2</sub> 総排出量 4,868,949Kg-CO <sub>2</sub> )	【全社】売上高あたり 68.6kg-CO <sub>2</sub> /百万円 (CO <sub>2</sub> 総排出量 3,736,510Kg-CO <sub>2</sub> )
・廃棄物の再資源化率 (リサイクル率)の維持 ・廃棄物排出量の削減	リサイクル率 88.2% (廃棄物排出量 1,297,257Kg)	リサイクル率 88% (廃棄物排出量 1,245,367Kg)
・生活水使用量の削減 ・洗車1台当たりの水使用量の削減	洗車 1 台当たり水使用量 0.0853m <sup>3</sup> /台 (水使用量 31,048m <sup>3</sup> )	洗車 1 台当たり水使用量 0.0905m <sup>3</sup> /台 (水使用量 28,495m <sup>3</sup> )
・化学物質の取扱量把握と適正量の保管	実施	実施
・エコタイヤ販売比率の増加	エコタイヤ販売比率 47.7%	エコタイヤ販売比率 51.7%
・事務用品のグリーン購入率の維持 ※	グリーン商品購入率 61.4%	グリーン商品購入率 35%

※排出係数 0.459kg・CO<sub>2</sub>/kWh 「中部電力ミライズ(株)の2022年度排出係数(調整後)」を使用しております。

※グリーン商品購入方法の変更により目標値を見直しました。

※グループ再編による拠点数の変更をふまえ、基準値および目標値を見直しました。





®環境省

エコアクション21

認証番号0007771

発行 トヨタカローラ名古屋株式会社  
エコアクション21事務局

